

記録：第334回海外邦人安全対策連絡協議会（2021年5月11日開催）

5月11日、「第334回海外邦人安全対策連絡協議会」を開催したところ、概要につき以下のとおり。今回もTV会議を利用した開催となった。主な議題は、断食月及び断食明け休暇期間中の注意喚起、並びに新型コロナウイルス感染・対応状況。参加企業からは、本邦での在留邦人向けワクチン接種に関する質問があった。

1. 冒頭

（大使館総括公使）

幸い、ラマダンが始まってから現在まで緊急事案は発生していない。今後、断食明け休暇期間に入るが、引き続き気を引き締める必要がある。

（大使館政務部書記官）

テロ情勢は比較的落ち着いているが、特にラマダンの終盤はテロ事件が増加する傾向が世界的にあるため、引き続き警察施設及び宗教施設には不必要に近づかないようお願いする。一般治安情勢も比較的落ち着いている。本年に入ってから、当館が受けた在留邦人の犯罪被害報告は1件のみだが、在留邦人の中には被害を受けても報告をされていない場合も想定される。当地での実際の治安状況を把握し、在留邦人の皆様に注意喚起を行う上で、被害情報は重要なため、今後も在留邦人が被害に遭われた場合には当館に情報提供をいただきたい。

2. 邦人に関わる最近の事件・事故報告

（大使館警備班書記官）

3月末にパサール・マエスティック地区において、買い物中にカバンから財布が盗まれる事件が発生した。昨年も置き引き、路上での携帯のひったくりが発生しているが、これらの犯罪は注意していればある程度防ぐことが可能であり、日頃から身の回りに注意いただきたい。

犯罪被害ではないが、先月、在留邦人がゴルフ中に体調が急変し亡くなった事案があった。日本とは異なり、病院までスムーズな搬送が困難な場合もあり、体調に注意の上、日頃から生活してもらいたい。

3. 新型コロナウイルスをめぐる状況等

（大使館医務官）

ゴルフ中に死亡された事案は、熱中症が関係していることが考えられる。乾期に入っているが高温多湿であり、運動・外出の際は水分補給に注意してほしい。

新型コロナウイルスの感染状況は、ジャカルタ首都特別州では下げ止まりとなっているが、邦人の中にもインドネシア人のクラスターに巻き込まれたケースの報告を受けている。感染者数が減ってきたとはいえ、これからレバランに入り人の移動が増加することに伴い、感染者数が増加することが予想される。また、インドネシアでは、公式には変異株はそれほど多くないように発表されているが、検査能力を考慮すると変異株はすでに一定数インドネシアに入っていると考えることが自然。感染力の高い変異株に置き換わることで感染者数が急増する可能性がある。変異株に対しても従来の株と同様、感染しない・させないための行動をしっかりとるようお願いする。日本国内における重症患者向けの医療状況がひっ迫してきていることにより、緊急搬送が困難になると見込まれるため、感染対策にしっかりと取り組んでいただきたい。

(大使館領事部長)

インドネシア入国後の5日間ホテル隔離において、本邦等で緊急事態(身内の不幸等)が発生した場合であっても、インドネシア政府の新型コロナウイルス対策タスクフォースは、5日間の自主隔離を途中で切り上げて再出国することを認めないことが、最近、実際の事例に基づき確認できた。一時帰国等からインドネシアへ戻る際には、こうした点にも十分注意し、身内の健康状態等に何か不安がある場合は、出発日程変更を判断されるようお願いする。

4. 各社・機関からの状況報告

(企業からの報告)

新規赴任に変化はなく、依然として数名が日本でVISAの手続きを待っている。

(企業からの報告)

駐在員108名、帯同家族約30名がインドネシアにいる。

(企業からの報告)

2020年度から遅れていた駐在員の移動は全て完了した。一部は就労VISAの手続き中。先月の協議会で報告した感染者は全員が快復。また、帯同家族1組が帰任した。

(企業からの報告)

現法では現在感染者は無し。事業会社への出向者含め新規赴任者が出張VISAで入国し、その後就労VISAを取得するプロセスで5~6月着任予定。帯同家族は希望者は順次インドネシアに帰還中。

(企業からの報告)

4月以降、感染者数が減少傾向にあったが、5月に入り若干増加している。5月に出張VISAで入国した1名が就労VISAへの切り替えの手続きを行っている。

現在3家族の赴任を手続き中。

(企業からの報告)

日本人スタッフに感染者無し、インドネシア人スタッフも2月以降出ていない。今月、新規赴任者1名が、出張VISAで入国する予定。また、帯同家族1組が今月の帰任を予定、もう1組が日本人学校の状況を見つつ7月から8月にも帰任を検討中。

(企業からの報告)

新規赴任者については、出張VISAで入国し、その後、就労VISAを取得する形でスムーズに進んでいる。日本人駐在員及びその家族、並びにインドネシア人社員に感染者は出ていない。

(企業からの報告)

毎月全社員に抗原検査を実施しており、1名の感染が確認された。先月までは数名の感染が確認されていたので状況は落ち着いてきた。帯同家族は1組のみ帰任済み。

工業団地関係では、インドネシア政府が高速道路等で厳格な行動制限を実施しており、移動に当たっては会社からのレターを準備している企業が多い。また、工業団地に出勤するバスも検査を受けたとの報告があった。

(企業からの報告)

今年に入り、感染者数は大きく減っている。帯同家族は学校、感染状況を見ながら帰任のタイミングを検討中。

(企業からの報告)

4月はインドネシア人スタッフ5名の感染が確認されたが、その後4月中旬以降新たな感染者は出ていない。退避帰国中の帯同家族1組がインドネシアに戻ることを検討中。

(企業からの報告)

赴任者のVISAは足下でスムーズに進んでいる。帯同家族6組がインドネシアにいる。インドネシア人スタッフの感染状況は改善しているが、レバラン明け以降の動向に注意する。

(企業からの報告)

インドネシア人スタッフも含めた感染状況は、ピーク時の3分の1程度に落ち着いている。4月末に駐在員1名の感染が確認されたが、ジャカルタの市立病院で治療を受け1週間程で退院した。

(企業からの報告)

感染者数は、12月、1月のピーク時から減少している。昨日、日本人駐在員1名の感染が確認された。症状は比較的軽症。投資調整庁の推薦レターを持ってVISAを取得し入国した者が1名。先月、帯同家族1組がインドネシアに戻った。

(企業からの報告)

感染者数は、1週間にインドネシア人スタッフ数名程度。一時退避していた帯同家族は日本国内の学校になじんでいることもあり、インドネシアに戻らないと思われる。また、情報共有だが、インドネシア人の間で WhatsApp のアカウント乗っ取り事案が広がっている様子。

(企業からの報告)

感染状況は足元改善している。4月異動発令者10名は、全員が出張 VISA で入国し、一部は既に就労 VISA も取得した。約20組の家族がインドネシアに戻ることを予定・検討している。

(企業からの報告)

インドネシア人スタッフに感染者が出ているが数は減っている。一時退避していた帯同家族を呼び戻す動きが出ている。

(企業からの報告)

帯同家族2組が戻っており、今後3か月以内にさらに4組が戻る予定。

(企業からの報告)

グループ会社のインドネシア人社員に数名の感染者が出ている。5月から6月に10名弱が新規赴任を予定。もともと40組程いた帯同家族のうち10組がインドネシアに戻ることを希望しているが、見込みは立っていない。

(企業からの報告)

直近1か月でインドネシア人スタッフ1名が感染。工業省からのレターを取得して1名が赴任した。6月中に帯同家族1組、7～8月にさらに1組が戻ることを予定。

(企業からの報告)

先週、インドネシア人スタッフ1名の感染が確認された。

(団体からの報告)

現在感染している者なし。新規赴任者1名が今月から来月の間に赴任予定。レバラン休暇に伴い、明日からライブラリーは閉館となる。

(JICA)

先週、日本人の JICA 関係者及びその家族に感染が確認された。いずれも軽症。日本に戻っていた専門家約60名のうち50名以上がインドネシアに戻ってきた。

(JETRO)

今年1月以降、日本人職員及びインドネシア人職員に感染者なし。帯同家族1組がインドネシアに戻り現在隔離中、1組が VISA 手続き中。

(国際交流基金)

日本人職員、専門家、インドネシア人職員に感染者無し。今月以降、専門家約10名が帰任予定。また、帯同家族2組がインドネシアに戻った。

(チカラン日本人学校)

教職員、児童・生徒に感染者無し。中央チカランの感染者が3月末から1月半にわたって減少したことを受けて、5月3日より通常登校を開始した。5月19日まで通常登校を行い、その後の方針は、レバラン休暇後の感染状況も踏まえて5月17日に決定する予定。生徒数は、6月、7月に10名が戻る・編入予定。

(ジャカルタ日本人学校)

4月に教員3名、5月に教員1名の感染が確認された。昨日、大使館とも感染対策について打合せを行った。4月8日に新規採用教員21名がインドネシアに到着した。5月4日から、対面授業再開に向けたシミュレーション授業を開始した。これは、大使館関係者とも連携し、バンテン州教育長からシミュレーション授業の実施許可を得たことに基づくもの。

5. 質疑応答

(企業からの質問)

在留邦人向けの日本でのワクチン接種の検討状況について教えてほしい。

(大使館総括公使)

在留邦人向けのワクチン接種の時期は未定だが、少なくとも、現在高齢者を対象としている日本国内でのワクチン接種が一般国民に拡大されるタイミングよりも先行して実施が開始されることはないだろうと考えて頂いてよいと思う。

次回海安協は2021年6月8日(火)に開催予定。